



第332号
2004年(平成16年)
7月10日

発行 明治大学
編集 明治大学広報部
TEL 03 (3296) 4083
E-mail:
koho@mics.meiji.ac.jp
東京都千代田区神田駿
河台1-1 (〒101-8301)
http://www.meiji.ac.jp/

明大から8名

アテネ五輪出場!!



左から、泉浩、松下浩二氏、遊澤亮氏、塚原直也氏

6月22日、駿河台校舎学生会館で明大の在学生および卒業生を
含めたアテネ五輪出場選手(別掲)の激励会が行われ、松下浩二
氏、塚原直也氏、遊澤亮氏、泉浩の4名が出席。オリンピックへ
の抱負と学生のみなさんにメッセージを語ってくれた。

アテネ五輪出場選手より

て、自分のやりたいことを思いっ
きりやって下さい。」

松下浩二氏(卓球)

▼オリンピックへの抱負

「オリンピックは今回で4回
目になります。いつもメダルに今一
歩届かなかつたので、今回はメダ
ルにこだわって頑張ります。」

▼学生にひとこと

「学生時代は時間がたくさんあ
ります。自分の夢や目標にむかっ
た。」

遊澤亮氏(卓球)

▼オリンピックへの抱負

「シングルスでの出場ははじ
めになります。今回は結果にこだ
わってメダルを狙いたいと思いま
す。」

▼学生にひとこと

「自分はまだセンスがありま
せんでしたが、ここまでこれまし
た。何事もあきらめずに頑張っ
て。」

ください。」

塚原直也氏(体操)

▼オリンピックへの抱負

「オリンピックは3回目の出場
ですが、まだメダルがありません。
今回は代表メンバーのレベルも高
くチャンスがあるので、金メダル
を目標に頑張ります。」

▼学生にひとこと

「自分は楽しみながら体操をや
ってきました。学生のみなさんも何
か楽しみを見つけて頑張ってい
たい。」

泉浩(柔道)

▼オリンピックへの抱負

「目標は金メダル!!90kg級は誰
が優勝してもおかしくない階級、
自分の力を出せば絶対に獲れると
思っています。」

▼学生にひとこと

「応援よろしくお願いします!!」

アテネ五輪出場者

氏名	学部	出場競技
在生 1名		
泉浩 (いずみ・ひろし)	経営4年	柔道男子90kg級
卒業生等7名		
足立美穂 (あだち・みほ)	2002年 商卒	カヌー・カヤックフォア
阿武教子 (あんの・のりこ)	1999年 文卒	柔道女子78kg級
柳田勝 (やなぎだ・まさる)	1992年 農卒	ライフル
松下浩二 (まつした・こうじ)	1991年 文卒	卓球
田崎俊雄 (たさき・としお)	1997年 経営卒	卓球
遊澤亮 (ゆざわ・りょう)	2000年 経営中退	卓球
塚原直也 (つかはら・なおや)	2000年 経営卒	体操

(2004年6月22日現在)

点

経営学部では6月にI
B P (International
Business Program)

を実施している。今年も、このプ
ログラムで外国からやって来た学
生が、明大生に混じって授業を受
け、授業以外でも一般学生と交流
を深めた。海外からの学生の内訳
はイタリア人、ベトナム系、メリ
カ人、香港出身のオーストラリア
人、フランスの大学院で学ぶロシ
ア人、カナダの大学に通う台湾人
と多様な顔ぶれがそろっており、
それだけを見ても、世界中で「国
際化」がどのように進んでいるか
を知るいいチャンスである。また、
アメリカ人学生が授業の中で「ア
メリカで銃を持っている人は中南
部に多い」「自分の大学では反イ
ラク戦争の抗議行動をしている」
と発言したことは、多くの学生が
持っている均質なアメリカ人像を
修正するのに役立った。海外から
の学生に比べ、内向きな印象がす
る日本人学生だが、悲観的になる
必要はない。彼らは英語の能力は
足りなくても、物怖じせず外国人
学生とテレビゲームの話題で盛り
上がり、日本製アニメの魅力を語
り、ヨーロッパのロックグループ
の知識を交換している。そうした
彼らの中に新たな日本人像が見え
てくる。▼IBPに参加したある日
本人学生は感想に「外国人学生の
『大学や大学院の勉強は、自分へ
の投資で、よりよい仕事を得るた
めのものである』という言葉が忘
れられない」と書いていた。多く
の学生が、大学で勉強している意
味を聞かれて答えられなかったが、
その後の彼らの態度はいい意味で、
大きく変化していった。

「新体験・農業」に参加しよう!!

学生相談室行事(連合父母会協賛)

学生相談室主催の恒例行事「新体験・農業 in 菅田」が今年も11月6日(土)～7日(日)の日程で、明治大学菅田農場で開催されます。昨年度は富士吉田農場で、秋晴れの好天に恵まれ新しい仲間との交流も広がりました。その昨年度の参加者から体験記が寄せられています。学生相談室では、このような交流と出会いの場を折に触れて企画しています。あなたもぜひ参加してみませんか!!

(学生相談室)

「体験・農業 in 富士吉田」参加体験記

私は老後、ほぼ自給自足のような生活をしたと思っています。そこで農業にも興味があったため、今回学生相談室の農業体験の企画を知り、張り切って参加を決めました。

富士吉田の農場では、まずその景色に大感激し、それからイモや



大根の収穫作業

大根の収穫、トラクターの運転、明治大学の所有するクロイン豚等の家畜見学、焼きイモや焼きリンゴなどをしました。夜は懇親会をしたり、就寝時間までみんなでゲームをしたりと1泊2日間はあっという間に過ぎてしまいました。今回の農業体験は、収穫の作業がメインだったので、農業に関してはまだまだ知りたい事が残りますが、短い時間の中で農業や懇親会を通して他学部や他学年の人たちと仲良くなれ、また気さくに話かけて下さる教授ばかりだったので色々興味深い話をすることもでき、本当にたくさん収穫を得ることができました。陰からみんなを盛り上げてくれた学生相談室の方々にも本当に感謝しています。これからも学生相談室のいろんなイベントにどんどん参加していきたいと思えました。そして来年また農業体験に参加したいです!

金城みわ(商学部4年)

「手に取る、都会にないもの」

まだ、眠たい目をこすりながら土曜の和泉校舎へ私は向かいました。それは、授業があるのも図書館で勉強するのもなく、今日は待ちにまった学生相談室主催の「体験・農業 in 富士吉田」だからです。

さっそく、一緒に申し込んだ友達と合流し、バスへ乗り込み、いざ富士吉田へレッツゴー! そのバスの中でこの体験農業の目的は、農業の体験と、もう一つはエンカウンター(出会うの場)と二つあるのだと相談室の方が説明してくださりました。走るバスの中……周りは知らない人ばかり……期待とちょっとした不安が入り混じりつつ富士吉田へ到着。そしていよいよ二日間わたる、体験農業が始まった!

巨大な富士山の見える、空気のすんだ農場で、大根ほりやリンゴ採集、食事の準備と、さらに耕運機の運転というエキサイティングな体験などを通じ、周りの人たちと自分との距離が縮まりました。帰る頃には、冗談も言い合えるほどにまでなっていました。中にはいまでも連絡を取り合っている人たちもいます。

農業体験とエンカウンターの両方が味わえるこの学生相談室主催の行事(私にとって素晴らしい、加えてリーズナブルな行事!!)をまだ参加したことない人たちにぜひお勧めします。

黒川宗照(法学部4年)



リンゴの出荷準備

学生相談室移動茶話会

「新体験・農業 in 菅田」

- ◇日時: 11月6日(土)～7日(日)
- ◇使用施設: (作業) 明治大学菅田農場 (宿泊) 明治大学菅田寮
- ◇費用: 3,500円 (宿泊、往復バス、食事4食分等含む)
- ◇募集人数: 30名(先着順)
- ◇申込期間: 10月18日(月)12時から各地区学生相談室にて受付開始
- ◇問い合わせ先: 各地区学生相談室

※詳細は各学部掲示板またはホームページで
<http://www.meiji.ac.jp/soudan/gyouji.htm>

学生相談室主催企画

キャリアを考える

将来が見える・・・かも

将来の自分 - 進路選択について一緒に考えてみませんか?

- 月曜日 施相談員(情報コミュニケーション学部) @15:00～17:00
 ★「仕事と家庭の両立について一緒に考えましょう」
- 火曜日 千葉相談員(経営学部) @17:30～19:30
 ★「専門職大学院ってなんだろう?」
- 水曜日 阪田相談員(文学部) @16:00～18:00
 ★「働く喜び」
- 木曜日 中村相談員(政治経済学部) @15:00～17:00
 ★「学生生活と勉強を考える」
 星野相談員(法学部) @17:00～19:00
 ★「これからの対人関係を考えてみよう」
- 金曜日 原相談員(商学部) @13:00～15:00
 ★「自分の夢実現へのみちについて一緒に考えてみませんか」

明大生なら誰でも参加OK!

- 期間: 6月28日(月)～7月30日(金)まで
 ウィークデーは毎日開催
- 時間: 各相談員の担当時間内
- 場所: 駿河台校舎大学会館2階
 学生相談室
- 申込: 不要
- 問い合わせ: 各地区学生相談室

相談室の窓から

渡辺 誠一
(相談員・経営学部教授)

今年入学した学生諸君の多くは、大学という新しい環境にも慣れ、大学生としての最初の夏休みにさまざまな期待を抱き、ある意気込みを感じていると思われまふ。アルバイトに精を出そうとしている者、外国旅行を計画している者、税理士や公認会計士などの資格を取得しようとする者など、さまざまだと思われます。何か資格を取得しようとするその意気込みは、日常生活においても、大学の授業に

ます。しかし1年生の段階からある資格を取ることにのみ集中し、それが自分の唯一の生きる目的であるかのような生活態度は控えなければなりません。うまい具合に税理士や弁護士になれたとしても、その資格だけでは、自分を活かし、発揮することにはなりません。立

おいても、学生諸君にある種の緊張感をもたらし、積極的な姿勢をとらせることになるので大変良い挑戦だと思われまふ。実際何か資格を取得していると、後に来る就職試験の面接などにおいても自信をもって対応できますし、積極的な姿勢をアピールすることができ

「夏休みを控えて」



こうした意味から、今年の夏休みは自分自身を大きくする絶好のチャンスなのです。古典と言われている書物を、小説であれ、随想であれ、科学書であれ、片っ端から読み耽ってみるのも、古典音楽に陶酔するのも、絵画や美術工芸の世界に耽溺するのも良いでしょう。またアルバイトに熱中するの

も悪くないでしょう。何かに自分自身を打ち込んでみてください。それを実現することができれば、後期の授業が始まる頃には、自分自身の生き方・考え方が以前と変わっていることに気づくはずですよ。自分自身が大きくなったことが実感できます。後期の授業が始まった段階で、夏休みをどのように過ごしたのか、何をしていたのか判然としないような過ごし方はしないで戴きたい。

この夏休みへの挑戦は、自分の進路や適性を知ることが出来るばかりではなく、自己の真の姿を捉えることができます。唯、酒に溺れるなどの無謀な行為だけはしないで下さい。いろいろな心配事・不安な事・相談したい事が生じた場合には、気楽に学生相談室においで下さい。

学生相談室主催 『快汗!バドミントン』 『ソーシャルダンス体験 “Shall we dance?”』

◎学生部課外教育プログラム
快汗!バドミントン
日 時=10月17日(日) 10時~17時
場 所=和泉校舎体育館
募 集=30名(先着順)
参加費=500円(昼食付き)
申 込=10月4日(月) 12時~

◎第3回ソーシャルダンス体験
“Shall we dance?”
日 時=11月14日(日) 12時30分~17時
場 所=駿河台校舎リパティタワー体育館
募 集=30名(先着順)
参加費=500円(懇親会含む)
申 込=10月25日(月) 12時~

※問い合わせは各地区学生相談室まで

学費振込用紙の 発送について

後期分の振込用紙は、9月前半に発送する予定です。納入期限は、10月20日(二部は12月20日)です。

昨年度と金額が異なりますので、必ず到着した振込用紙の内容をご確認の上、お振り込みください。

住所・送付先等の変更がある場合は、所属する学部・短期大学の各事務室まで早急に「変更届」を提出してください。

(お問合せ先)
財務部資金課 学費係
☎ 03-3296-4096・4097

2004年度岸本辰雄記念奨学生募集要項

- 奨学金の種類・給付額・資格・出願書類について
 - 第1種奨学金 月額5万円 「学業成績が特に優秀であり、かつ、時代を切り開く創造性が豊かであると認められる者」
資格：学部・短期大学2年生以上で、前年度までの累計成績が4.5以上の者(優×5+良×3+可×2)÷科目数
 - 第2種奨学金 月額3万円 「原則として、関東以外の県から本大学に入学し、自活する者」
資格：両親ともにいない者で、自活している者
 - 第3種奨学金 年額10万円 「スポーツ又は文化活動において、著しく優秀な成績を収めた者」
資格：本学入学後、スポーツ又は文化活動において、著しく優秀な成績を収めた者 ただし、体育会所属学生は応募資格がありません
 - 第4種奨学金 月額2万円 「身体に障害を持ち、かつ、教育上経済的援助が必要であると認められる者」
資格：身体に障害を持ち、かつ、教育上経済的援助が必要であると認められる者
 - 第5種奨学金 年額10万円 「年齢に関係なく、勉学の意欲を持つ者」
資格：25歳以上で本学に入学し、学部・短期大学2年
 - 第6種奨学金 年額10万円 「ボランティア活動などの社会福祉を積極的に奨励し、顕著な活動を行ったと認められる者」
資格：本学入学後、ボランティア活動などの社会福祉を積極的に奨励し、顕著な活動を行ったと認められる者
※募集要項は7月13日(火)から各校舎奨学生係にて配布します。
※同種類の奨学金採用は在学中1回限りとします。
- 出願締切
9月27日(月)
- 選考方法について
一次は書類選考、二次は一次選考合格者から面接を行い、奨学金委員会で推薦決定します。
- 募集要項・願書の請求先及び提出先
各校舎奨学生係(駿河台) 学生厚生課(和泉) 和泉学生課(生田) 生田学生課
- 採用者発表(各奨学金掲示板にて発表します)
2004年11月(予定)
- 奨学金振込
2004年12月(予定)

『明治大学学園だより』はホームページでも読むことができます
<http://www.meiji.ac.jp/koho/information/pr/gakendayori/index.html>

2003年度決算と2004年度予算

- 1、2003年度決算
- (1) 「一般会計資金収支計算書」(第1表)
 - (2) 「一般会計消費収支計算書」(第2表)
 - (3) 「貸借対照表」(第3表)

2003年度決算の内容

2003年度決算について(第1表)「一般会計資金収支計算書」を中心に科目別に内容を説明します。

収入の部

収入総額は762億5千万円で、予算比27億2千万円の減です。

- 1、「学生生徒等納付金収入」は343億7千万円。予算比1億8千万円の減です(第1表)。「消費収支計算書」における帰属収入に占める「学生生徒等納付金収入」の割合(学生生徒等納付金比率)は77・7%で、前年度決算に比べ0・5%減少です。(第2表)
- 2、「手数料収入」は、26億4千万円。主なものは「入学試験料」です。
- 3、「寄付金収入」は、2億8千万円。予算比1億3千万円の減です。主に教育振興協力資金です。
- 4、「補助金収入」は、38億2千万円。予算比2億6千万円の増収となっています。主な内訳は

- ① 「国庫補助金」は、33億5千万円(予算比1億9千万円増)。このうち大学・短大に対する「経常費補助金」は、30億4千万円(予算比4千万円増)、他に「研究設備・装置補助金」2億9千万円(予算比1億3千万円増)があります。
- ② 「地方公共団体補助金」は、3億5千万円。これは、主に高等学校・中学校に対する「東京都補助金」です。
- ③ 「その他の補助金」は、1億2千万円。主に事業創出実用化研究開発事業補助金です。
- 5、「資産運用収入」は、9億2千万円。各種積立金および運転資金等の「利息・配当金収入」6億4千万円および「施設設備利用料収入」2億4千万円等です。
- 6、「資産売却収入」は、16億4千万円。資金の効率運用のため前年度末に保有していた短期運用債権の売却収入です。
- 7、「事業収入」は、3億5千万

- 11、「資金収入調整勘定」は、101億1千万円。これは前記の各収入のうち、当期に実際の資金の受け入れがなかった「期末未収入金」および「前期末前受金」を収入予算額から控除するものです。
- 12、「前年度繰越支払資金」は、253億1千万円は、2002年度から当期に繰越した支払資金の額です。

支出の部

支出総額は収入と同額の762億5千万円です。

- 1、「人件費」、235億円。予算比3億円の減となっています(予算執行率98・7%)。主な要

- 4、「借入金返済支出」は、7千万円。日本私立学校振興・共済事業団からの借入金利息です。
- 5、「施設関係支出」137億4千万円の主な内容は、「建物」がアカデミーコモン建設、生田第二校舎A館建設、駿河台10号館柔道場設置、駿河台14号館個人・院生共同研究室設置他、「構築物」が和泉及び八幡山グランド整備等、「建設仮勘定」には、和泉新教育棟新築、西調布合同合宿所新築等があります。
- 6、「設備関係支出」は27億5千万円(予算比5千万円減)。主な内訳は「機器備品」20億9千万円、「図書」6億5千万円等です。
- 7、「資産運用支出」は27億9千万円。主な内訳は、資金効率運用のための短期運用債購入、駿河台施設計画引当資産(第2号基本金資産)の積み立て、各種奨学金等の引当資産への積み立て等です。
- 8、「その他の支出」は、58億3千万円。主なものは「未払金支

- 1、「学生生徒等納付金収入」は、340億9千万円。情報コミュニケーション・ビジネスイノベーション学部、法科大学院、グローバル・ビジネス研究科、ガバナンス研究科などの新設による収容定員の増はあったものの、一方で二部、短期大学の学生募集停止及び臨時定員分在学生の減少などにより、前年度と比較して4・5億円(1・3%)の減収です。
- 2、「手数料収入」は、25億6千万円。主なものは、「入学試験

収入の部

2004年度予算について(第4表)「一般会計資金収支計算書」を中心に科目別に内容を説明します。

- 1、「学生生徒等納付金収入」は、340億9千万円。情報コミュニケーション・ビジネスイノベーション学部、法科大学院、グローバル・ビジネスイノベーション研究科、ガバナンス研究科などの新設による収容定員の増はあったものの、一方で二部、短期大学の学生募集停止及び臨時定員分在学生の減少などにより、前年度と比較して4・5億円(1・3%)の減収です。
- 2、「手数料収入」は、25億6千万円。主なものは、「入学試験

貸借対照表

「資金収支」と「消費収支」の

払)46億7千万円です。
9、「資金支出調整勘定」は、前記各支出のうち、当期中に実際の資金の支払いがなかったものが41億9千万円であることを示す控除科目であり、内訳は、「期末未払金」、「前期末前払金」です。
資産の総額1、851億2千万円は、前年度比30億4千万円の増加、負債の総額385億は、前年度比27億4千万円減少です。
資産の総額から負債の総額を差し引いた「正味資産額」は、1、466億2千万円となり、前年度比57億9千万円の増加です。この正味資産の額は、「基本金」および「消費収支差額の部」で表されています。

2004年度予算の内容

2004年度予算について(第4表)「一般会計資金収支計算書」を中心に科目別に内容を説明します。

- 3、「寄付金収入」は、3億8千万円。主な内容は、「指定寄付金」で創立120周年記念事業募金1億1千万円、その他研究所指定寄付金を5千万円、創立記念事業募金として、商学部・政治経済学部合計で2千万円の計上です。また「一般寄付金」で教育振興協力資金2億円を計上しています。
- 4、「補助金収入」は、36億8千万円を計上。
- ① 「国庫補助金」は、32億9千万円。このうち「経常費補助金」については、30億円、「研究設備補助金」は、5千万円、「研究装置等補助金」は2億2千万円を計上しています。
- ② 「地方公共団体補助金」は、3億4千万円。これは、主に高等学校・中学校に対する

「東京都補助金」です。
 5、「資産運用収入」は、7億8千万円。主に受取利息・配当金収入及び施設設備貸出による利用料収入です。
 6、「資産売却収入」は、30億円。前年度末に保有する短期運用債券の換えのための売却収入です。

7、「事業収入」は、2億1千万円。内容は「農場収入」「診療所収入」「受託事業収入」です。
 8、「雑収入」は、18億5千万円。主なものは「私立大学退職金財団」からの交付金、アカデミーコモンズの竣工により本格化する「リバティアカデミー受講料収入」等があります。

9、「前受金収入」は、64億1千万円。主なものは年度内に受け入れる2005年度新入生の学生生徒等納付金の見込額です。
 10、「その他の収入」は、44億2千万円。主なものは和泉新校舎建設に係わる「新学部・学科設置引当資産」からの繰入金、奨学金等の「貸付金返還金」、「未収入金収入」等です。

11、「資金収入調整勘定」は、70億7千万円。これは、前記の各収入予算額のうち当期に資金の受入が行われない「期末未収入金」及び「前期末前受金」を収入予算額から控除するものです。
 12、「前年度繰越支払資金」は、215億円。前年度末の現預金有高の見込額です。

支出の部

支出総額は収入総額と同額の718億3千万円です。
 1、「人件費総額」では、250

億6千万円、前年度比12億7千万円の増です。「教員人件費」には、採用増額分を見込んでいます。
 2、「物件費および経費」は、122億5千万円。前年度と比較して8億7千万円(7.7%)の増加です。例年どおり、教育研究体制の維持向上と教育環境への配慮を行っています。重点施策としては、商・政治経済・文の各学部への授業料半額相当額を給付する奨学金、2004年度開設される法科大学院、ガバナンス研究科、グローバル・ビジネス研究科への奨学金の充実。各種体育活動への助成、国家試験対策の充実経費を盛りこんでいます。

3、「支払利息」は、1千万円。私学振興・共済事業団等からの借入金利息です。
 4、「借入金返済支出」は、7千万円。これは契約に基づく日本私立学校振興・共済事業団等への返済です。2004年度末借入金残額は1億8千万円になります。

5、「施設関係支出」は、63億円。主なものは和泉新教育棟建設、西調布合宿所建設、明高中学校舎建設等々です。
 6、「設備関係支出」は、33億5千万円。主なものは、機器備品が26億3千万円、図書が7億2千万円です。機器備品の主なものは和泉新教育棟建設関連、理工・農学部の教育研究用機器、研究設備・装置補助金対象の購入機器、駿河台14号館大学院生共同研究室関連機器等です。
 7、「資産運用支出」は、40億4

千万円。これは短期有価証券購入の「有価証券」、奨学金等への積立、施設設備整備引当資産への積立等です。
 8、「その他の支出」は、49億7千万円。「貸付奨学金」および前年度支出科目のうち実際の資金の支払いが当期になる「未払金支払」等です。
 9、「資金支出調整勘定」は、37億2千万円。各支出予算額のうち当期に実際の資金の支払いがない金額を支出から控除するものです。以上の結果、「次年度繰越支払資金」は190億8千万円となります。

2004年度予算の特徴

- ① 2004年度は短期大学・二部学部の廃止しての情報コミュニケーション学部の開設
- ② 授業のフレックス化による7講時制の導入
- ③ 高度専門職業人養成大学院として法科大学院、グローバル・ビジネス研究科、ガバナンス研究科の開設
- ④ 等々を実施します。
- ⑤ 新学部新大学院設置に伴う必要な予算措置
- ⑥ 学術フロンティア等の大型プロジェクトへの対応
- ⑦ 図書館図書・情報関連経費の拡充
- ⑧ 国家試験対策経費、体育会各部強化に伴う体育振興対策費の充実
- ⑨ 奨学金制度の充実等に配慮しています。

〈第1表〉2003年度 一般会計資金収支計算書

(収入の部)			(支出の部)		
科 目	決 算 額	予算比増・減 (△)	科 目	決 算 額	予算比増・減 (△)
学生生徒等納付金収入	34,367,152	△ 180,841	人 件 費	23,504,397	△ 299,135
手数料収入	2,638,937	157,704	物件費および経費	10,923,082	△ 742,504
寄付金収入	284,886	△ 131,214	支 払 利 息	14,412	△ 88
補助金収入	3,815,382	263,422	借入金返済支出	66,660	0
資産運用収入	918,446	70,104	施設関係支出	13,739,996	△ 410,095
資産売却収入	1,644,184	△ 1,355,816	設備関係支出	2,747,966	△ 54,503
事業収入	346,760	217,760	資産運用支出	2,787,265	△ 1,424,410
雑収入	1,763,027	137,045	その他の支出	5,828,747	△ 76,985
前受金収入	6,523,806	△ 1,304,124	予 備 費	0	△ 289,308
その他の収入	8,742,922	157,663	資金支出調整勘定(△)	△ 4,187,206	増 628,534
資金収入調整勘定(△)	△ 10,108,098	増 754,200	次年度繰越支払資金	20,825,600	1,203,065
前年度繰越支払資金	25,313,515	0	支出の部合計	76,250,919	△ 2,722,497
収入の部合計	76,250,919	△ 2,722,497			

〈第2表〉2003年度 一般会計消費収支計算書

(消費収入の部)			(消費支出の部)		
科 目	決 算 額	予算比増・減 (△)	科 目	決 算 額	予算比増・減 (△)
学生生徒等納付金収入	34,367,152	△ 180,841	人 件 費	23,428,545	△ 33,686
手数料収入	2,638,937	157,704	物件費および経費	14,742,160	△ 679,712
寄付金収入	363,894	△ 112,206	支 払 利 息	14,412	△ 88
補助金収入	3,815,382	263,422	資産処分差額	223,281	47,228
資産運用収入	918,447	70,105	徴収不能引当金等繰入額	18,857	7,857
資産売却収入	346,760	217,760	消費支出の部合計	38,427,255	△ 658,401
事業収入	346,760	217,760			
雑収入	1,763,027	137,045			
前受金収入	6,523,806	△ 1,304,124			
その他の収入	8,742,922	157,663			
資金収入調整勘定(△)	△ 10,108,098	増 754,200			
前年度繰越支払資金	25,313,515	0			
消費収入の部合計	76,250,919	△ 2,722,497			

(消費収支差額の部)		
科 目	決 算 額	予算比増・減 (△)
帰属収入合計	44,213,599	552,989
基本金組入額(△)	△ 6,145,134	減 927,633
消費収入の部合計	38,068,465	1,480,622
当年度消費支出超過額	△ 358,790	減 2,139,023
消費収支差額の部合計	△ 358,790	減 2,139,023

〈第3表〉貸借対照表(2004年3月31日)

(資産の部)			(負債・基本金および消費収支差額の部)		
科 目	本年度末	増・減(Δ)	科 目	本年度末	増・減(Δ)
固 定 資 産	153,372,972	7,748,310	負債の部合計	38,503,571	Δ 2,742,097
有形固定資産	114,500,406	12,525,453	固 定 負 債	26,159,948	Δ 150,021
土地建物	23,180,417	0	長期借入金	181,669	Δ 74,169
構築物	66,786,947	15,156,363	退職給与引当金	13,511,769	Δ 160,275
機器備	2,124,021	1,038,961	年金引当金	12,466,510	84,423
図書	7,627,160	588,669			
車両	14,500,378	571,404	流動負債	12,343,623	Δ 2,592,076
建設仮勘定	15,202	2,945			
	266,281	Δ 4,826,999	短期借入金	74,169	7,509
その他の固定資産	38,872,566	Δ 4,777,143	前受金	6,523,806	Δ 2,181,092
借地権	4,287	0	未払金	4,140,334	Δ 533,914
電話加入権	17,432	0	預り金	1,605,314	115,421
施設利用権	4,200	Δ 840	基本 金	154,620,257	6,145,134
有価証券	124,250	0	第一号基本金	146,456,472	12,035,096
長期貸付金	5,684,182	159,055	第二号基本金	1,803,824	Δ 5,905,352
退職給与引当資産	13,511,769	Δ 160,257	第三号基本金	3,764,961	15,390
年金引当資産	12,466,510	84,424	第四号基本金	2,595,000	0
駿河台施設計画引当資産	0	Δ 5,709,176	消費収支差額の部合計	Δ 8,001,584	Δ 358,790
新学部・学科設置引当資産	1,803,824	Δ 196,176	翌年度繰越消費支出超過額	Δ 8,001,584	Δ 358,790
第3号基本金引当資産	3,764,961	15,390			
特定引当資産	491,151	30,437	合 計	185,122,244	3,044,247
施設設備整備引当資産	1,000,000	1,000,000			
流 動 資 産	31,749,272	Δ 4,704,063			
現金預金	20,825,600	Δ 4,487,915			
短期貸付金	954,756	69,263			
未収入金	1,408,574	Δ 222,188			
前受金	786,016	Δ 13,190			
預り金	60,023	13,151			
前払金	1,500	Δ 19,000			
保有有価証券	7,712,803	Δ 44,184			
合 計	185,122,244	3,044,247			

〈第4表〉2004年度 一般会計資金収支予算

(収入の部)			(支出の部)		
科 目	予 算 額	前年度比増・減(Δ)	科 目	予 算 額	前年度比増・減(Δ)
学生生徒等納付金収入	34,093,169	Δ 454,824	人 件 費	25,062,082	1,266,751
手数料収入	2,564,088	82,855	物件費および経費	12,248,522	873,156
寄付金収入	381,100	Δ 35,000	支払利息	11,000	Δ 3,500
補助金収入	3,678,807	126,847	借入金返済支出	74,170	7,510
資産運用収入	783,609	Δ 64,733	施設関係支出	6,307,235	Δ 7,980,585
資産売却収入	3,000,000	0	設備関係支出	3,354,126	1,311,657
事業収入	210,790	81,790	資産運用支出	4,042,784	Δ 168,891
雑収入	1,851,615	225,633	その他の支出	4,973,229	Δ 641,955
前受金収入	6,413,972	Δ 1,413,958	予備費	400,000	0
その他の収入	4,415,964	Δ 4,787,633	資金支出調整勘定(Δ)	Δ 3,722,450	減 170,650
資金収入調整勘定(Δ)	Δ 7,065,170	減 1,813,530	次年度繰越支払資金	19,077,246	Δ 1,418,986
前年度繰越支払資金	21,500,000	Δ 2,500,000			
収入の部合計	71,827,944	Δ 6,925,493	支出の部合計	71,827,944	Δ 6,925,493

〈第5表〉2004年度 一般会計消費収支予算

(消費収入の部)			(消費支出の部)		
科 目	予 算 額	前年度比増・減(Δ)	科 目	予 算 額	前年度比増・減(Δ)
学生生徒等納付金収入	34,093,169	Δ 454,824	人 件 費	24,374,698	912,467
手数料収入	2,564,088	82,855	物件費および経費	16,891,176	1,659,304
寄付金収入	441,100	Δ 35,000	支払利息	11,000	Δ 3,500
補助金収入	3,678,807	126,847	資産処分差額	344,375	168,322
資産運用収入	783,609	Δ 64,733	徴収不能引当金等繰入額	11,000	0
事業収入	210,790	81,790	消費支出の部合計	41,632,249	2,736,593
雑収入	1,851,615	225,633			
帰属収入合計	43,623,178	Δ 37,432	(消費収支差額の部)		
基本金組入額(Δ)	Δ 4,475,502	減 1,167,265	科 目	予 算 額	前年度比増・減(Δ)
消費収入の部合計	39,147,676	1,129,833	当年度消費支出超過額	Δ 2,484,573	Δ 1,606,760
			消費収支差額の部合計	Δ 2,484,573	Δ 1,606,760

大学史の散歩道



大学史資料センター委員

山泉 進 (法学部教授)

植原悦二郎と吉野作造

植原悦二郎の名前は、明治大学の歴史にとっては深く名前を刻まれている。もっとも、一九二〇(大正九)年から翌年にかけて、



植原悦二郎 (植原悦二郎回顧録刊行会刊『八十路の憶出<植原悦二郎>』)

植原は、当時、犬養毅の国民党の代議士として国政にかかわっていたが、明治大学では比較憲法や政治学、社会学などを担当していた。植原は、一八七七(明治一〇)年、長野南安曇郡明盛村(現、三郷村)に生まれ、渡米、苦

学してワシントン大学を卒業、のちイギリスのロンドン・スクール・オブ・エコノミクスに学んで博士号を取得した。一九一(明治四四)年に帰国、東京高等工業学校(現、東京工業大学)の教師となり、明治大学の記録によれば、一九一三(大正二)年九月より、政治史を担当する無給の講師となっている。その後の植原の経歴からいえば、一九三二(昭和七)年に衆議院副議長に選出されたこと、軍部の独走を批判し大政翼賛会には参加しなかったこと、戦後は第一次吉田茂内閣の国務大臣に就任したが、のち反吉田派として鳩山一郎の日本民主党の重鎮として働いたことなどのことの方がはるかに知られているところであって、明治大学での教歴などたいしたところでないのかもしれない。

植原は、当時、犬養毅の国民党の代議士として国政にかかわっていたが、明治大学では比較憲法や政治学、社会学などを担当していた。植原は、一八七七(明治一〇)年、長野南安曇郡明盛村(現、三郷村)に生まれ、渡米、苦学してワシントン大学を卒業、のちイギリスのロンドン・スクール・オブ・エコノミクスに学んで博士号を取得した。一九一(明治四四)年に帰国、東京高等工業学校(現、東京工業大学)の教師となり、明治大学の記録によれば、一九一三(大正二)年九月より、政治史を担当する無給の講師となっている。その後の植原の経歴からいえば、一九三二(昭和七)年に衆議院副議長に選出されたこと、軍部の独走を批判し大政翼賛会には参加しなかったこと、戦後は第一次吉田茂内閣の国務大臣に就任したが、のち反吉田派として鳩山一郎の日本民主党の重鎮として働いたことなどのことの方がはるかに知られているところであって、明治大学での教歴などたいしたところでないのかもしれない。

『明治大学学園だより』はホームページでも読むことができます
<http://www.meiji.ac.jp/koho/information/pr/gakundayori/index.html>

2004年度後期教科書販売について

- 次のおおりに販売します。
- なお、いずれも日曜・祝日及び大学の休業日は休みです。
- 駿河台校舎
 - 三省堂書店明治大学駿河台店
 - 9月20日(月)～
 - 10:30～19:30 (土曜は18:00まで)
- 和泉校舎
 - 三省堂書店明治大学和泉店
 - 9月20日(月)～
 - 10:30～19:00 (土曜は16:00まで)
- 生田校舎
 - 丸善ブックセンター明治大学生田店
 - 9月20日(月)～
 - 9:30～17:30 (土曜は16:00まで)

いたことになる。私は、植原と吉野の政治学の影響こそは「駿台学」としての明大政治学の揺籃と呼んでみたいと思っている。こう書いたからといって、植原と吉野の「デモクラシー」をめぐる見解が一致していたというわけではない。吉野の著した論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」(『中央公論』一九一六年一月)に対しても、植原は「気分」と「意向」には賛同するとしながらも、主権を憲法の条文のなかに閉じ込めて天皇主権の余地をのこしている吉野の「民本主義」の曖昧さを批判して、主権は「国民の綜合意志」にあると主張した(『吉野博士の憲法論を評す』『国家及国家学』同年三月)。何だか、教室での講義のような場面を記憶に残しておきたかったのである。



吉野作造 (岩波書店刊『吉野作造選集』)

明大ニュース

サッカー部が初優勝!!

第28回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント(7月6日開幕・関西地区)に出場し、大学日本一を目指す。

関東大学サッカー選手権大会(6月20日・西が丘サッカー場)

17日の準決勝、昨年度1部リーグ優勝の駒大に3-0と快勝して勢いに乗る明大は、決勝で青学大と対戦。前半は風下で苦戦を強いられたが、後半に入ると徐々にペースをつかみはじめ、54分に松ヶ枝(商4)のゴールで先制。63分には栗橋(商3)の強烈なミドルシュートが相手ディフェンダーのオウンゴール誘い、試合を優位に展開。86分山本(法2)のゴールで突き放し、3-0と圧勝。明大はこの大会初優勝。関東第一代表として



関東を制した明大イレブン

学生のみなさんへ

2004年6月

明治大学

このたび、大学として社会ルールの遵守について、再三注意を喚起していかかわらず、商学部学生のセクシュアル・ハラスメント行為による不祥事が発生したことは大変残念です。一部学生の心無い行動により、明治大学はその名誉を著しく損ない、社会から指弾されています。

大学は一連の不祥事に関し、関係者や社会に対して、深くお詫びするとともに、一日も早い信頼回復に向けて大学をあげて、再発防止のための様々な方策や指導に取り組む所存であります。

学生諸君も明大生としての誇りを持ち、社会の一員としての責任を自覚し、社会から尊敬をかちえる存在をめざして努力されることを要望します。

なお、本学商学部学生の上記不祥事に関して、新聞や週刊誌等を通して様々な情報が流されております。その内容は、大学による正確な説明によるものではなく、それぞれの取材によるものであることから、内容や表現等について不正確かつ不適切な点があります。学生諸君は、いたずらにこれを信じたり、インターネット上の掲示板への中傷的書き込みや流言蜚語に騒ぎたてたりすることなく、勉学に精励されるよう希望します。大学は、学生諸君とともに全力をあげて被害者のケアと保護に努めます。

以上

23年ぶりの日本一ならず

全日本大学野球選手権大会

(6月15日・神宮)

各地方のリーグ戦を勝ち抜いたチームで大学日本一の座を争うこの大会、1回戦をリードされた明大は2回戦からの登場。先発の一場(商4)が広島経済大(広島6)を相手に完全試合を達成(5-0)。

続く準々決勝も九州東海大(九州)を4-1で下して臨んだ準決勝。明大は序盤からミスが重なり東北福祉大に(仙台6)3点を先制され主導権を握られる。先発の一場が12安打を浴び、打線も3回に4番菅谷(商3)の適時二塁打で1点差に迫るも、得点機の併殺など拙攻が目立ち3-5で敗れ、23年ぶり6回目の日本一はならなかった。

一場が完全試合

大会史上4人目

全日本大学野球選手権大会の初戦となった2回戦、一場が広島経済大を相手に大会史上4人目となる完全試合を達成。一場は投球数103、奪三振13、内野ゴロ13、内野フライ1と外野に一度も打たせなかった。



完全試合を達成した一場

ノーベル賞受賞者科学フォーラム ~21世紀——科学が担うもの~

- 日時：11月4日(木)13時~16時30分
- 場所：駿河台校舎アカデミーコモン
- 内容：ノーベル賞受賞者による基調講演、パネルディスカッション
- パネリスト：未定

※申し込み等詳細は、9月上旬に明治大学ホームページおよび読売新聞で公開予定

明大から275名が合格

司法試験短答式

法務省は6月2日、司法試験の平成16年度第二次試験短答式試験の合格者を発表、明大からは275名が合格した(別掲)。出願者数は49880人(前年度比17.4人減)で、過去最高だった前年度を若干下回った。合格者数は、7438人(同45.2人増)で、過去最高を記録した。合格率は約15%で、前年度を約1ポイント上回った。

図書館からのお知らせ

図書館では前期試験を迎えるにあたり、貸出、返却、書庫への入庫ができる休日開館を実施します。

◆休日開館◆

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

▽生田図書館 7月18・19・25日

▽和泉図書館 7月11・18・19・25日

▽中央図書館 7月18・19・25日

盗難注意のお知らせ

2004年6月

最近、中央図書館内で盗難が頻発しています。トイレやコピーで席を離れるわずかな時間でも貴重品は必ず携帯してください。

▽和泉図書館 月・金…9時30分~16時 土・日…休館

▽生田図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽中央図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽和泉図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽生田図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽中央図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽和泉図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽生田図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽中央図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽和泉図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽生田図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽中央図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽和泉図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽生田図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽中央図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時

▽和泉図書館 月・金…10時~19時 土・日…10時~17時